新UI対応マニュアル

ERS請求書について

本資料は、作成日現在の状況を基に作成したものであり、
記載の内容、名称等が変更される場合があることについてあらかじめご了承願います。
※SAP Business Network（旧Ariba Network）は本資料では「SBN」と記載いたします

株式会社NTT ExCパートナー

NTT ExCパートナー © NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

目次

1.本資料の内容・位置づけ
   1. 本書に関して
   2. 本書の位置づけ

2.ERS請求書とは
   1. ERS請求書とは

3.「入庫」（受領書）の確認方法
   1.「入庫」（受領書）の確認方法

4.ERS請求書の確認方法
   1. ERS請求書の確認方法
   2.【補足】仕入明細書記載要件「4」の確認方法
   3.【補足】入出庫伝票取消後のERS請求書表示

5.制約事項
   1.受領書とERS請求書との金額表示差異について
   2.注文書とERS請求書との単価表示差異について(3ページ)

6.その他
   1. SBN画面操作上の注意点

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

1.本資料の内容・位置づけ

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

1-1.本書に関して

- 本書はサプライヤの皆様がAribaを利用してスムーズにバイヤとの購買取引を実施いただくための手引書です

- 手引書内に表示している画像（特に画面キャプチャ）は各手引書の改定日時点のものとなります。UI変更などの関係でシステム上と手引書上の画像が異なる可能性がございます。あらかじめご了承ください

- 「4」始まり注文のインボイス制度対応としては、「ERS請求書」と「受領書」の組み合わせで仕入明細書の記載要件を満たしますので、本書では受領書の確認方法も説明します。ただし、「Ariba利用手引_検収通知編」に注文書画面の「関連ドキュメント」からの参照方法を説明していますので、本書では別の参照方法として、注文書画面の「オーダーを追跡」からの参照方法を説明します

- SAP Business Network（旧Ariba Network）は本資料においては「SBN」と記載します

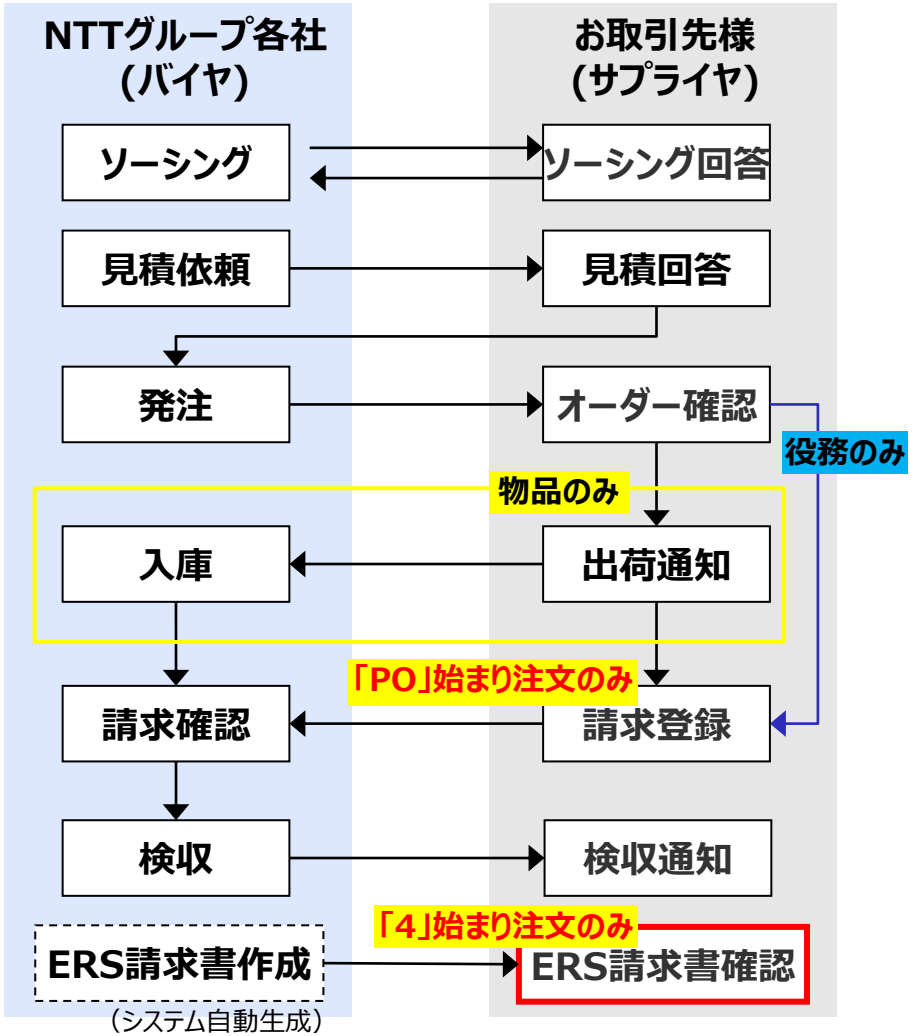
- Aribaを利用するための初期設定、および本手引書記載内容以外の業務に関する参考資料等は当社webサイト〔https://www.nttexc.co.jp/nttg_proc/index.html〕にて、ご参照いただけます。 なお、対象のドキュメントはダウンロードいただけます

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

1-2.本書の位置づけ

- Aribaを利用した購買プロセスの内、ERS請求書確認について本マニュアルではご説明します

お取引の流れ



サプライヤの操作内容

ソーシング回答	バイヤと、サプライヤ間での購買相談を実施します。
見積回答	見積依頼/回答の受渡が電子化されます。 システム上で見積の情報をやりとりします。
オーダー確認	注文書内容を確認後、SAP Ariba上で「オーダー確認」を押下して受注連絡をします。
出荷通知	SAP Ariba上で「出荷通知」を 押下し、 出荷日・配達日情報を伝えます。 出荷がないサービスの場合は対象外となります。
請求登録	注文情報を参照し、SAP Ariba上で 「請求書」をご登録いただきます。 **「PO」始まり注文の物品・役務で必要です。**
検収通知	バイヤ側での検収後、物品・役務それぞれで 検収状況を確認できます。
ERS請求書確認	バイヤ側で生成された ERS請求書を確認できます。 **「4」始まり注文のみ対象です。**

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2.ERS請求書とは

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2-1.ERS請求書とは

- 「4」始まり注文番号の注文については、インボイス制度対応としてSAP標準機能である ERS(Evaluated Receipt Settlement、SAP標準「入庫/請求自動決済機能」)の仕入明細書を利用した方式が採用されるため、請求書はバイヤ側で生成されSBNを通じてサプライヤへ提示されます。

- バイヤ側で生成した請求書を他の請求書（請求登録等）と区別するため本書では「ERS請求書」と記載しますが、 SBN画面上の表記は「請求書」になります。サプライヤはSBN画面上で請求内容を確認することができます。

- ERS請求書の**対象は「4」始まり契約番号の注文（物品）**であり、「PO」始まり注文番号の注文(物品・役務)は対象外です。

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

3.「入庫」（受領書）の確認方法

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

3-1.「入庫」（受領書）の確認方法

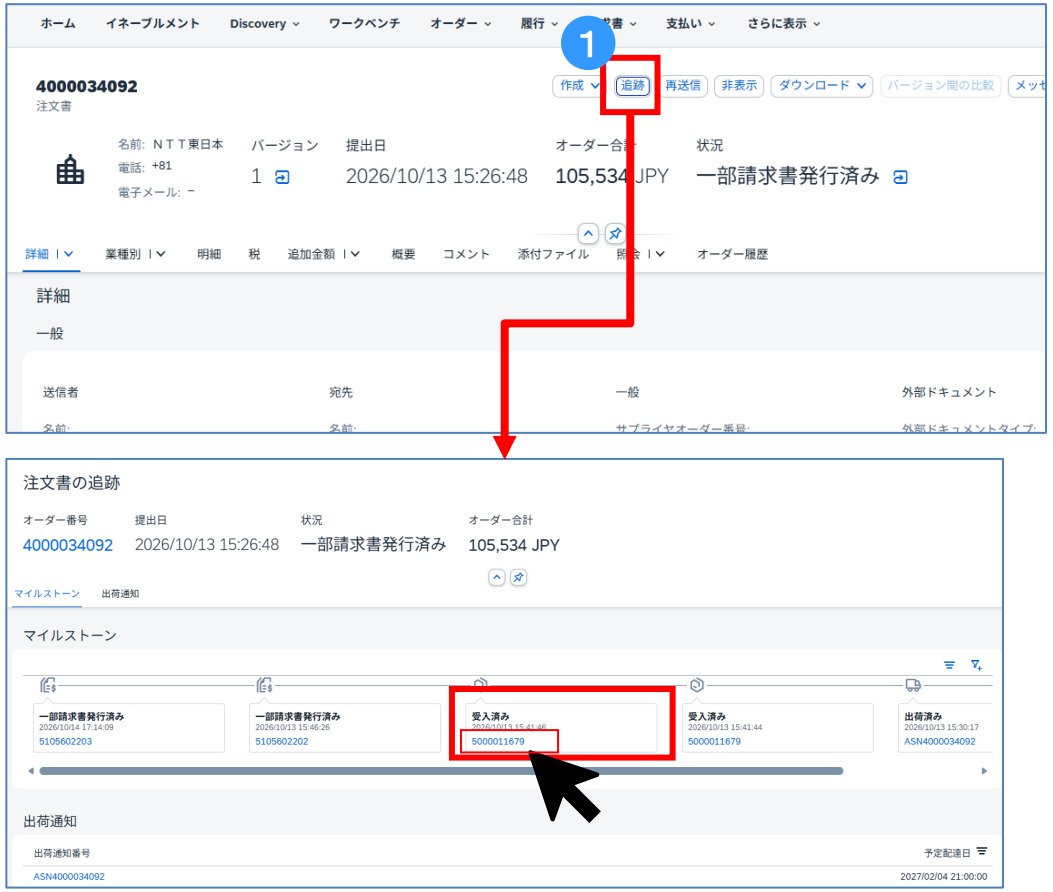
- 「4」始まり注文番号の物品の出荷後に、バイヤ側で検収承認後、SBN上の「入庫」（受領書）で確認できます
- 「入庫」（受領書）は注文書画面上の「オーダーを追跡」から確認できます

システム操作

- ①注文書画面上で「オーダーを追跡」を押下してください
- 「マイルストーン」の「受入済み」の「50」から始まる数字の部分を押下すると「入庫」（受領書）へ遷移します。

その他事項

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

3-1.「入庫」（受領書）の確認方法

- 「注文書」画面で「関連ドキュメント」に表示される「50」から始まるIDが「入庫」（受領書）になります

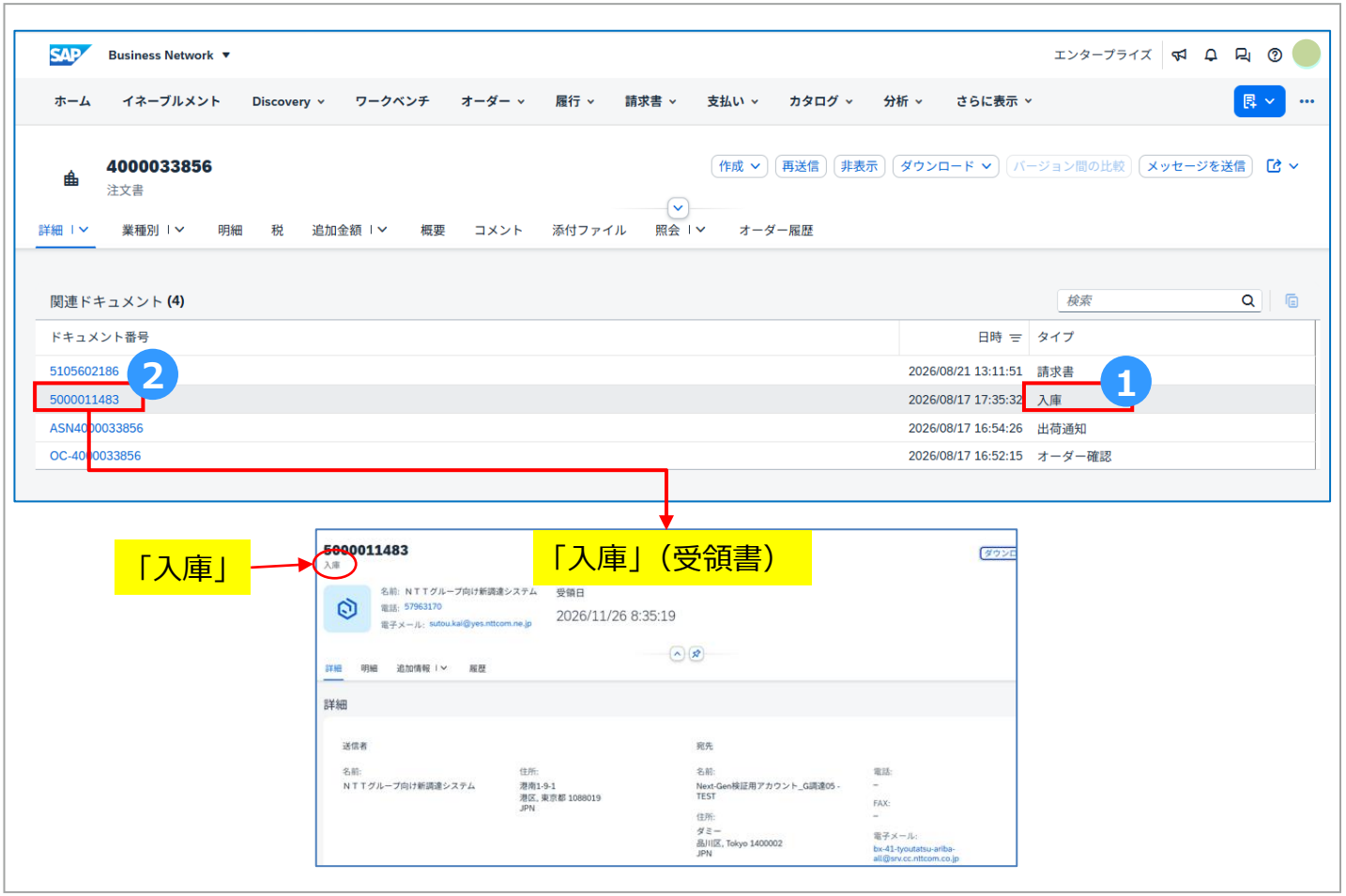
システム操作

- ①本注文について受領書が発行済みであれば、「関連ドキュメント」欄の「タイプ」のところに「入庫」が表示されます。
- ②「入庫」の「ドキュメント番号」に表示される「50」から始まる数字の部分を押下すると「入庫」（受領書）へ遷移します。

その他事項

- 受領書には「受領書」の表記はなく、「入庫」が受領書を意味します。

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4.ERS請求書の確認方法

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4-1.ERS請求書の確認方法(1/6)

- 注文書画面上の「関連ドキュメント」で進捗状況が確認できます
- 「4」始まり注文番号の物品の出荷後に、バイヤ側で検収承認後、SBN上の請求書を確認できます

システム操作

- ①注文書画面上の「関連ドキュメント」で進捗状況を確認できます
- ②確認をしたい請求書のドキュメント番号を押下すると請求書の詳細情報が表示されます

その他事項

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4-1.ERS請求書の確認方法(2/6)

- 請求書画面の詳細タブで該当注文に関する請求内容を確認できます
- インボイス制度対応のため仕入明細書の記載要件が画面上のどの位置に表示されるか以下に示します

システム操作

- 請求書の記載内容を確認

- 仕入明細書の記載６要件を確認
  ①「1. 仕入明細書の作成者の氏名又は名称」
  ②「2. 課税仕入れの相手方の氏名又は**名称**及び登録番号」

その他事項

<仕入明細書の記載６要件>

1. 仕入明細書の作成者の氏名又は名称
2. 課税仕入れの相手方の氏名又は名称及び登録番号
3. 課税仕入れを行った年月日
4. 課税仕入れに係る資産又は役務の内容
5. 税率ごとに合計した課税仕入れに係る支払対価の額及び適用税率
6. 税率ごとに区分した消費税額等

（「3」と「4」の一部は「入庫」（受領書）でご確認できます）

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4-1.ERS請求書の確認方法(3/6)

- 課税仕入れの相手方の登録番号の確認

システム操作

- 請求書の記載内容を確認

- 仕入明細書の記載６要件を確認
①「2. 課税仕入れの相手方の氏名又は名称及び**登録番号**」は、「追加情報」タブの「補足詳細」に記載の「T+13桁の番号」です

その他事項

<参考> 仕入明細書の記載６要件

1. 仕入明細書の作成者の氏名又は名称
2. 課税仕入れの相手方の氏名又は名称及び登録番号
3. 課税仕入れを行った年月日
4. 課税仕入れに係る資産又は役務の内容
5. 税率ごとに合計した課税仕入れに係る支払対価の額及び適用税率
6. 税率ごとに区分した消費税額等

（「3」と「4」の一部は受領書でご確認できます）

*1 サプライヤの適格請求書発行事業者登録番号は、「国税庁インボイス制度適格請求書発行事業者公表サイト」の情報をもとに初期表示しております。

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4-1. ERS請求書の確認方法(4/6)

- 「入庫」（受領書）での確認方法

システム操作

- 受領書の記載内容を確認

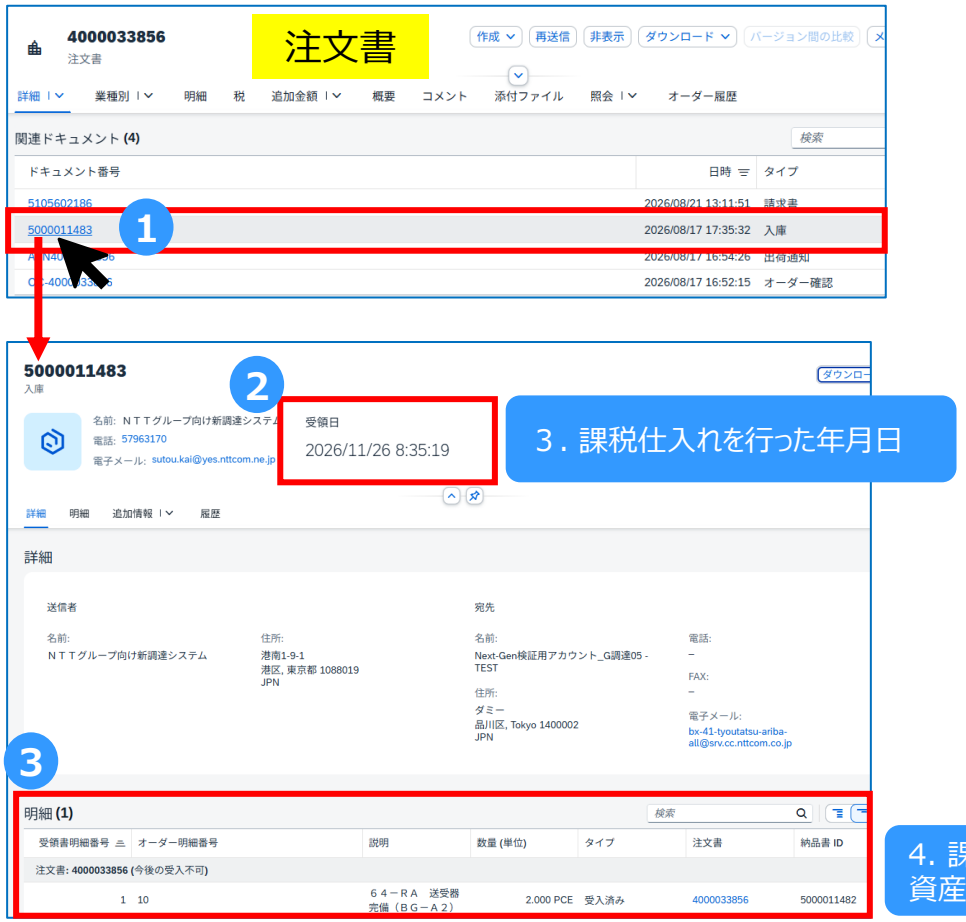
- 仕入明細書の記載６要件を確認
- ①「入庫」（受領書）を開きます
  注文書画面の「関連ドキュメント」にある「50始まりの番号」を押下し、遷移先で「3」と「4」を確認
  ②「3. 課税仕入れを行った年月日」
  ③「4. 課税仕入れに係る資産又は役務の内容」
  ※「3」と「4」の一部は「入庫」（受領書）で確認します
  ※「4.課税仕入れ・・・」の確認方法の詳細は本資料「4-2.【補足】仕入明細書記載要件「4」の確認方法」をご覧ください

その他事項

<仕入明細書の記載６要件>

1. 仕入明細書の作成者の氏名又は名称
2. 課税仕入れの相手方の氏名又は名称及び登録番号
3. 課税仕入れを行った年月日
4. 課税仕入れに係る資産又は役務の内容
5. 税率ごとに合計した課税仕入れに係る支払対価の額及び適用税率
6. 税率ごとに区分した消費税額等

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4-1.ERS請求書の確認方法(5/6)

- 税率等の確認方法

システム操作

- 仕入明細書の記載６要件を確認
  ①「5. 税率ごとに合計した課税仕入れに係る支払対価の額及び適用税率」
  ②「6. 税率ごとに区分した消費税額等」

その他事項

<参考> 仕入明細書の記載６要件

1. 仕入明細書の作成者の氏名又は名称
2. 課税仕入れの相手方の氏名又は名称及び登録番号
3. 課税仕入れを行った年月日
4. 課税仕入れに係る資産又は役務の内容
5. 税率ごとに合計した課税仕入れに係る支払対価の額及び適用税率
6. 税率ごとに区分した消費税額等

（「3」と「4」の一部は「入庫」（受領書）でご確認できます）

- ERS 請求書は明細単位で生成されるため異なる税率が混在することはありません。

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4-1.ERS請求書の確認方法(6/6)

- 固定文言の確認方法

システム操作

- ①コメント欄にERS請求書の扱いについて固定文言が表示されますのでご確認ください

その他事項

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4-2.【補足】仕入明細書記載要件「4」の確認方法

- 仕入明細書の記載６要件のうち「**4.課税仕入れに係る資産又は役務の内容**」はERS請求書の明細欄の表示に加え、「受領書」を確認いただくことで「**品目名称**」を確認することができます。

システム操作

4. 課税仕入れに係る資産又は役務の内容

- ①ERS請求書の明細「品番/説明」列に表示される文字列の**最後にカンマ区切りで表示されている注文番号**(「4」始まり10桁数字)と**明細参照番号**(5桁数字)を確認してください。
- ②当該注文番号の「入庫」（受領書）内の「明細」_「オーダー明細番号」列がERS請求書の「明細参照番号」の**先頭「0」を除いた数字と一致**する明細を探します。
- ③「入庫」（受領書）の「明細」の「説明」欄で品目名称を確認できます。

その他事項

＜参考＞仕入明細書の記載６要件

1. 仕入明細書の作成者の氏名又は名称
2. 課税仕入れの相手方の氏名又は名称及び登録番号
3. 課税仕入れを行った年月日
4. 課税仕入れに係る資産又は役務の内容
5. 税率ごとに合計した課税仕入れに係る支払対価の額及び適用税率
6. 税率ごとに区分した消費税額等

（「3」と「4」の一部は「入庫」（受領書）でご確認できます）

システム画面

■ERS請求書（明細欄）



■「入庫」（受領書）



【留意事項】
ERS請求書の「明細参照番号」が「入庫」（受領書）の「オーダー明細番号」と同じ意味となります。

ただし、ERS請求書の「明細参照番号」は数字5桁となるよう先頭がゼロ埋め(パディング)されています。
一方、受領書の「オーダー明細番号」はゼロ埋めはされていない整数値で表記されています。

例）ERS請求書「明細参照番号」00010 ＝ 「入庫」（受領書）「オーダー明細番号」10

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

4-3.【補足】入出庫伝票取消後のERS請求書表示

- バイヤ側S/4HANAにおいて**入出庫伝票を取り消した場合**、当該取引に関する**ERS請求書の数量や金額欄では「－（マイナス）」**が先頭に付加され表示されます。

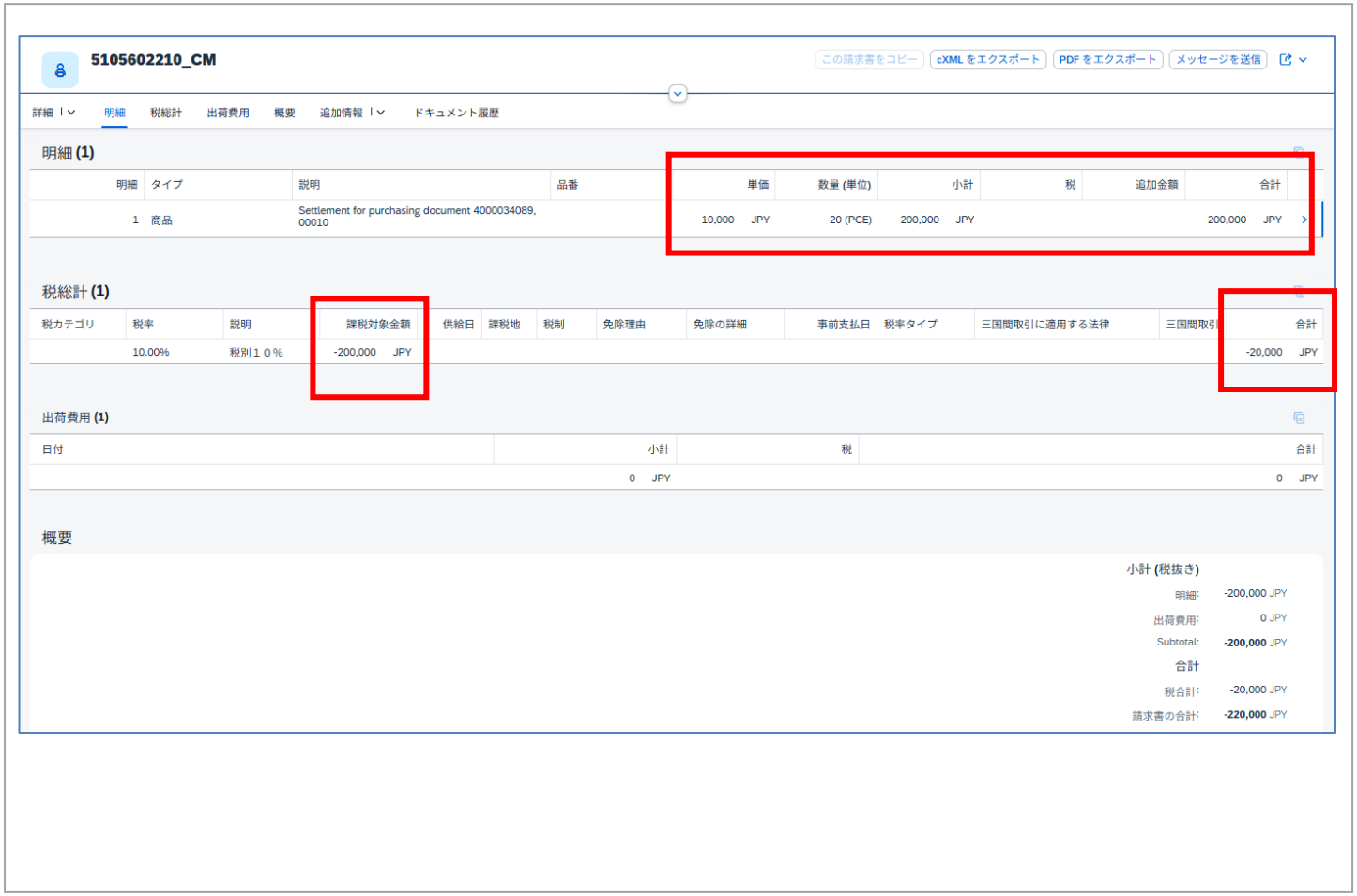
システム操作

- ERS請求書の①明細の「数量/単価」、「単価」、「小計」の数量や金額の先頭に「-（マイナス）」が表示されます。
- ERS請求書の②税総計の「課税対象金額」、「税額」の金額の先頭に「-（マイナス）」が表示されます。

（数量や金額以外は取り消される前の請求書と同じ内容が出力されます）

その他事項

システム画面



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

5. 制約事項

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

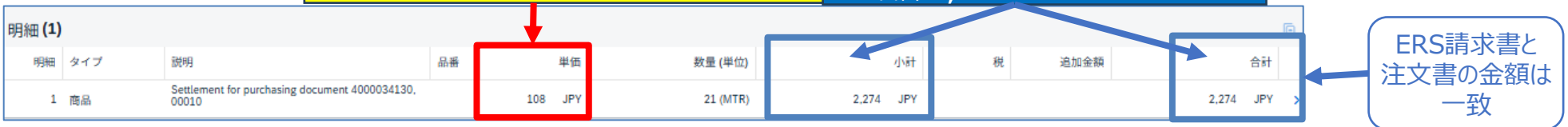
1.受領書とERS請求書との金額表示差異について

- **注文書**の「**ab長物品の表示金額差異」発生事象**に関してはサプライヤ各社にも周知させて頂いた通りバイヤ側(S/4HANA)の「計算した合計に対して数量で割り戻す単価算出」に対しサプライヤ側(SBN)では整数のみを許容するため四捨五入して単価を連携し、SBN側で単価×数量で合計を再算出していることが要因であることから「単価の数量単位の数量」を発注「数量」と同数量にすることで小計を一致させる改修を2023年6月1日に実施しました。
- ただし、「**受領書**」と「**注文書/ERS請求書」間でも同様に金額差異が発生**することが判明しており、受領書には「単価の数量単位の数量」の項目が存在せず同様の改修が困難なため、**受領書の金額は参照せず、ERS請求書や支払い明細WEBに記載の金額を参照いただく**など運用対処にご理解とご協力をお願いします。

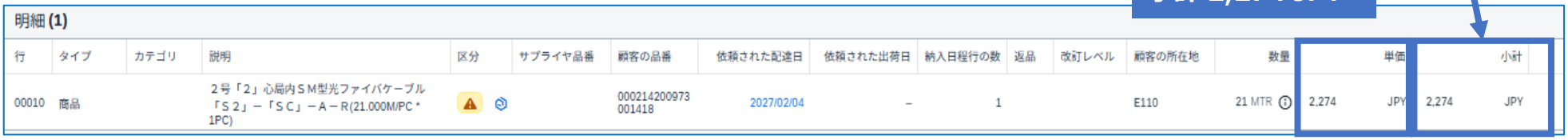
■**入庫（受領書）**



■**請求書**(ERS請求書)



■**注文書**

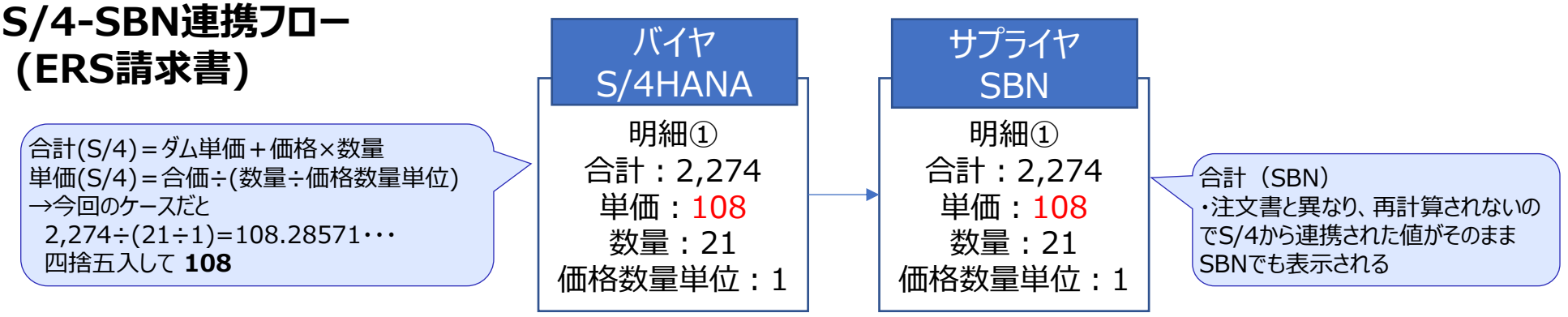


© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

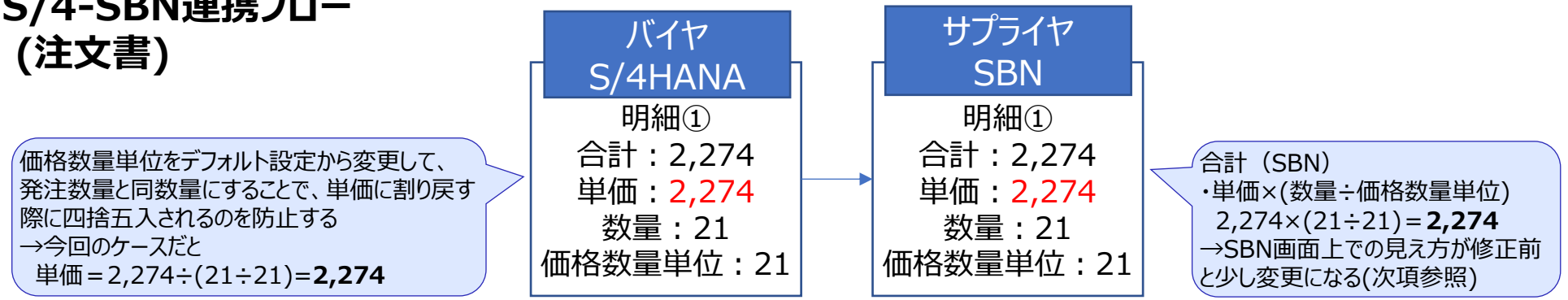
2.注文書とERS請求書との単価表示差異について（１／３）

- 注文書の「ab長物品の表示金額差異」については、2023年6月1日に改修を実施し、「1. 受領書とERS請求書との金額表示差異について」および以下の「■S/4-SBN連携フロー（注文書）」に記載の仕様となっています。
  この改修に伴い、**注文番号が「4」で始まるすべての注文のERS請求書にも以下の仕様が適用される**ため、注文書とERS請求書で単価表示に差異が発生する場合があります。
  - バイヤ側(S/4HANA)で「単価の数量単位の数量」を「数量」と同数量にする処理をしていない
  - SBN側で合計を再計算するロジックはなく、S/4HANAから連携された値がそのまま引き継がれる
- 単価の表示はインボイス制度の仕入明細書記載6要件には含まれないこと、**小計に差異はなく支払いには影響がない**ことからERS請求書と注文書で単価に差異がある事象についてはご理解ご了承いただきますようお願いします。

■S/4-SBN連携フロー（ERS請求書）



■S/4-SBN連携フロー（注文書）



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2.注文書とERS請求書との単価表示差異について（２／３）

- **【画面イメージ】注文書**の「単価」には「小計」と同じ値 2,274 JPYが表示されます

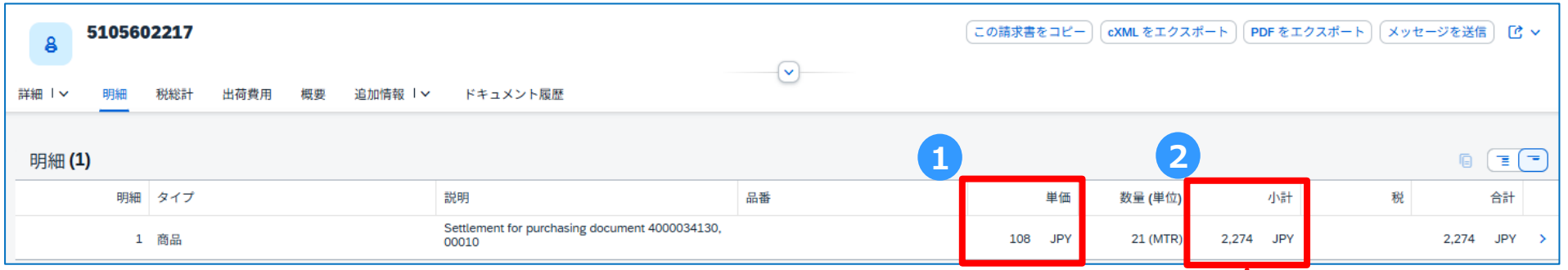


© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

2.注文書とERS請求書との単価表示差異について（３／３）

- **①請求書**の「単価」には 108 JPYが表示され、
  ②「小計」には注文書の小計と同じ値 2,274 JPYが表示されます

請求書



注文書



注文書の小計＝請求書の小計

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

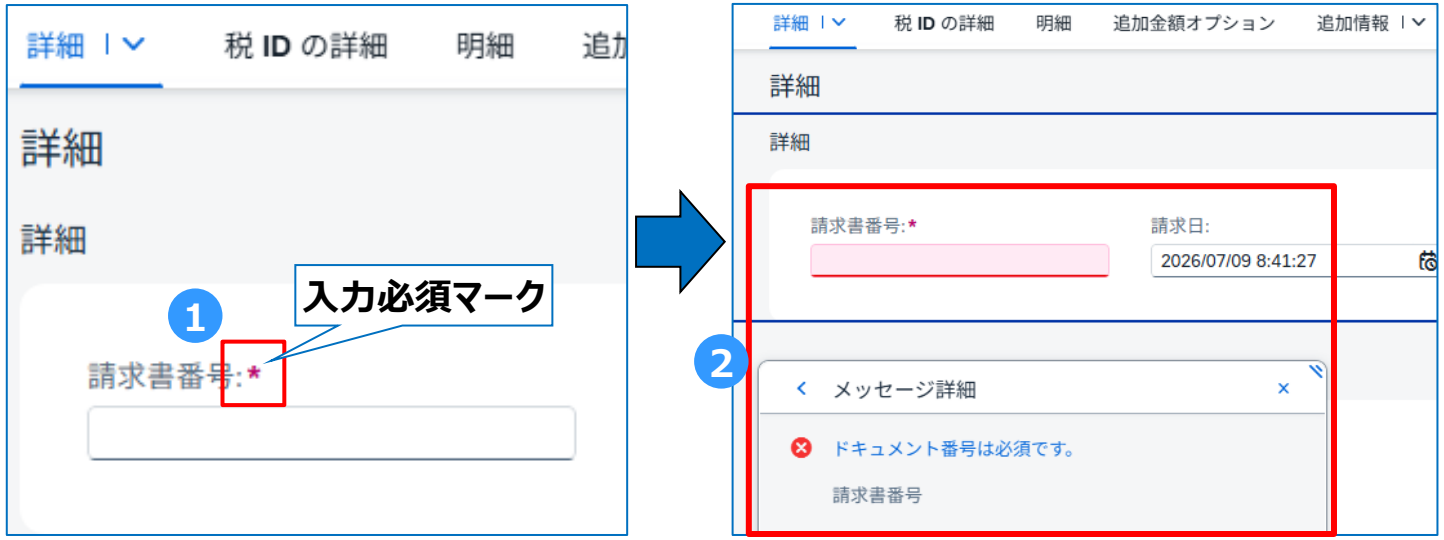
6.その他

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

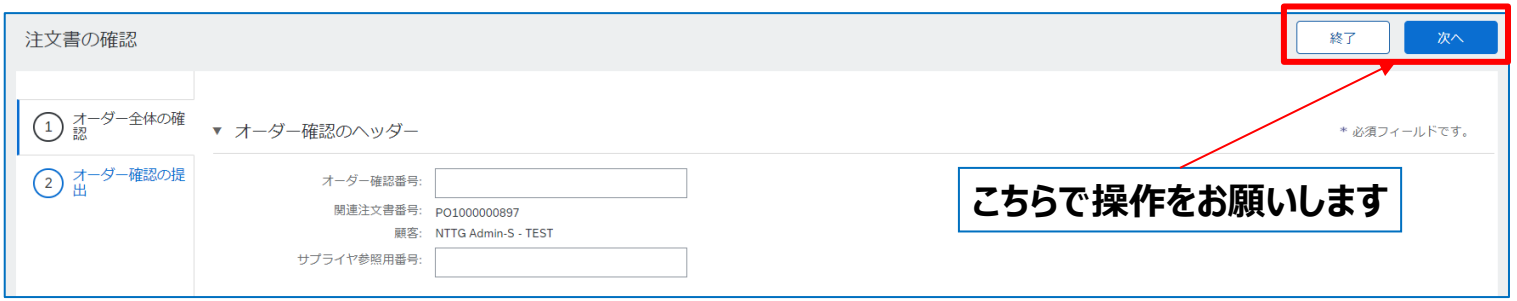
6-1.SBN画面操作上の注意点

- ①入力項目名の隣に「＊」がついている項目 は入力必須項目になります
- ②必須項目を入力せずに「次へ」などを押すと、 次の画面には遷移せずに、エラー項目が表示されます

例



- ブラウザーの「戻る」「次へ」は 使用せずに、画面右上または左下の 「終了」「次へ」ボタンなどを使用してください



© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

改訂履歴

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.

改訂履歴

項番	改訂日	改訂箇所	改訂概要	版数
1	2023/9/8	--	第1版展開 インボイス制度対応を反映 ・ERS仕入明細書をSBN経由でサプライヤに連携	1.0
2	2023/9/25	・3.ERS請求書の確認方法 ・4.受領書の確認方法 ・5.制約事項	インボイス制度対応の開発進捗に伴い改訂 ・仕入明細書記載要件の確認方法について補足追加 ・バイヤ側入出庫伝票取消時のERS請求書マイナス表示について補足追加 ・1.0版に記載の「注文書とERS請求書との単価表示差異について」に加え、 「受領書とERS請求書との金額表示差異について」を追記し制約事項として集約	1.1
3	2023/9/29	・3.ERS 請求書の確認方法	P.13 その他事項の注意書きについて一部文言訂正	1.2
4	2024/2/8	・1.本書に関して ・3.ERS 請求書の確認方法	参考資料掲載サイトのURL変更 （https://www.ntt-ba.co.jp/… ⇒ https://www.nttexc.co.jp/…） P.12 画像差替え（「説明」欄の表示不具合解消のため） P.13 画像差替え、その他事項の注意書きについて一部文言削除 （「説明」欄の表示の不具合解消のため） P.15 画像差替え（「説明」欄の表示不具合解消のため）	1.3
5	2025/2/28	・表紙 ・P.4	・タイトル変更「Ariba利用手引_ERS請求書編」→「ERS請求書について」 ・参考資料掲載サイトのURL変更	1.4
6	2026/11/4	・全体	UI変更に伴う更新（新UI対応）	2.0
7	2026/11/14	・P.21～P.24	「５．制約事項」を更新 1ページ増により、その後のページを順送りし、合計28ページへ変更	2.1

© NTT ExCPartner Corporation All rights Reserved.